

授業改善に向けて

校長 本間 基史

私達、教員は校内研究といって、目の前の子供たちにどのように授業を進めていくか、よりよい授業を提供するために、1年間の研究主題を決め、講師の先生を通年でお呼びして研修を行っています。

本年度の研究テーマは「対話を通した協働的な学び～自己調整をしながら学習する児童を目指して～」としました。講師に元文部科学省教科調査官の奥村高明先生をお招きして、実際に授業を観ていただきながらご指導いただきます。

子供たちに勉強しなさいと言うだけではなく、先生たちもよりよい授業をするために勉強しています。奥村先生からは日々の授業だけではなく、これからの新しい学習指導要領の方向性についても学んでいきます。

対話を進める上で大切な考え方は対話とは「私」と「あなた」が話し合うこと・・・ではない。

対話から「私」と「あなた」が生まれるのだということ。子供は、たった一人では「かけがえのない子供」にはなれない。子供が「かけがえのない子供」になるためには、その子の有能さを認め、励ます「先生」が必要である。

子供たちの学習を温かく見つめ、子供の「ひらめき」を我が事のように喜び、子供たちと同じように学び合う先生であろうと再確認しました。

もちろん、ご家庭でも私たちと一緒にお子さんの良さを認め、励ましていきましょう。また保護者の皆様にも日々の授業を頑張っている「先生たち」を励ましていただければ幸いです。

今年度の教育計画について

教務主任

令和7年度がスタートして2か月が経ちました。新しい先生、新しい学級、新しい友達等、環境が大きく変わった学年もあったと思いますが、元気に前向きに学校生活を送っている子供が多いように感じられます。

今年度も本校の教育活動が、子供たちにとって充実した学校生活となるよう、本校職員一同、精一杯努めて参ります。

昨年度からの主な変更点は以下の通りです。

	昨年度	今年度
遠足	全校遠足 →小石川後樂園	低学年（1・2年） →光が丘公園 中学年（3・4年） →平和の森フィールド アスレチック 高学年（5・6年） →各学年ごとに社会科見学
運動会	5月実施	11月実施
学芸行事	音楽会	展覧会（2月）
校内研究	「児童の心と体をつなぐ体育学習」	「対話を通した協働的な学び～自己調整しながら学習する児童を目指して～」

本校の教育活動への、一層のご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

今年度の校内研究について

研究担当

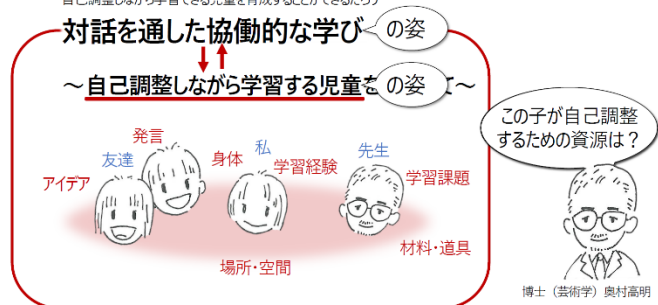
「校内研究」は、子供たちによりよい学習の機会を提供するために、私たち教員が授業改善に向け取り組んでいくことを言います。

津久戸小学校の学校教育目標は、「知性と教養にあふれ たくましく前向きに生きる 津久戸の子」です。今年度の研究は、「対話を通した協働的な学び～自己調整しながら学習する児童を目指して～」を主題とし、学校教育目標の実現に向けて授業改善を図っていくこととしました。

昨年度までは「体育科」を研究教科とし、児童が自己調整しながら学習できることを目指しました。研究のまとめとして、自己調整しながら学習する児童の育成には、「対話力・表現力」が必要だと考えました。今年度は、教科を絞らずに「対話力・表現力」を高める研究を行います。

相手の話を聞いたり、自分の思いを表現したりすることは、学校生活だけでなく、生活の様々な場面で必要となり、より生活を豊かにすると考えます。ぜひご家庭でも話題にしてみてください。

全ての教科で対話が活性化できれば、協働的な学びが実現し、自己調整しながら学習できる児童を育成することができるだろう。講演「今年度の研究で目指す児童像の実現に向けて」



～奥村高明先生の校内研究会でのプレゼンより～